



# ULTRA-TRAIL Mt.FUJI

## ウルトラトレイル・マウントフジ 2016 運営計画書(簡略版)

ver.4

2016年9月9日

ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会

## I.大会概要

大会名	ウルトラトレイル・マウントフジ 2016 「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI 2016」(第5回目)
開催日	2016年9月23日(金)～25日(日) 3日間
開催場所	富士山麓(山梨県 富士河口湖町、鳴沢村、身延町、山中湖村、忍野村、富士吉田市 静岡県 富士宮市、富士市、裾野市、御殿場市、小山町)
種 目	<p>①UTMF(ウルトラトレイル・マウントフジ) : 距離 約167km(予定)、46時間制限(23日13:00スタート) 募集人数:1400名 うち海外400名 スタート/フィニッシュ:山梨県富士河口湖町 大池公園</p> <p>②STY(静岡から山梨(英名=SHIZUOKA To YAMANASHI)) : 距離 約71km(予定)、20時間制限(24日12:00スタート) 募集人数:1000名 うち海外100名 スタート:静岡県富士市 富士山こどもの国 フィニッシュ:大池公園</p> <p>③小さなUTMF : 距離 2km(24日12:10スタート) 3km(24日12:20スタート) 10km、3時間制限(24日12:25スタート) 募集人数:10km200人、3km100人、2km50組100人 会場:静岡県富士市 富士山こどもの国</p>
主 催	ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会 (NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部、富士河口湖町、鳴沢村、身延町、富士宮市、富士市、裾野市、御殿場市、小山町、山中湖村、忍野村、富士吉田市、一般財団法人アールビーズスポーツ財団)
後 援(予定)	在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、外務省、文部科学省、国土交通省、観光庁、山梨県、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、だいいちテレビ、K-mix、Ultra-Trail du Mont-Blanc®
特別協賛(予定)	株式会社ゴールドウイン(THE NORTH FACE)、日本ゴア株式会社
名誉実行委員長	三浦雄一郎(プロスキーヤー・冒険家)
名誉実行委員	渡辺 喜久男(富士河口湖町長) 小林 優(鳴沢村長) 須藤 秀忠(富士宮市長) 小長井 義正(富士市長) 高村 謙二(裾野市長) 若林 洋平(御殿場市長) 込山 正秀(小山町長) 高村 文教(山中湖村長) 天野 多喜雄(忍野村長) 堀内 茂(富士吉田市長) 望月 仁司(身延町長)
実行委員長	鏑木 毅(トレイルランナー/富士トレイルランナーズ倶楽部代表理事)
副実行委員長	福田 六花(医師・ミュージシャン/富士トレイルランナーズ倶楽部理事:富士河口湖町)

実行委員 村越 真 (静岡大学教育学部教授/富士トレイルランナーズ倶楽部理事:静岡市)  
 実行委員 三浦 務(富士トレイルランナーズ倶楽部理事)  
 実行委員 中尾 益巳(富士トレイルランナーズ倶楽部理事)  
 実行委員 静岡,山梨各自治体担当者 11 名  
 (2016 年 3 月末日現在)

コンセプト 総距離約170kmにもおよぶ富士山の山麓、登山道、歩道、林道などを走りつなぎます。他に例のないアウトドアイベントを通して、自らに挑戦することの大切さと、トレイルランニングの魅力を紹介しします。また、360度どこから見ても美しい富士山の文化と自然環境の素晴らしさを国内外に伝えていくものです。

大会の理念 この大会は他の選手に勝つことやスピードを競うことが目的ではありません。富士山を巡る161kmの長いトレイルの走破は人力による旅への挑戦です。自らの肉体と精神の可能性を押し広げ、その限界を見極めることを目指します。

「自然環境を尊ぶ精神を養う」

日本には古くから自然と共に生きる文化がありました。しかし、現代人はそれを見失いがちではないでしょうか。この大会ではトレイルランニングというアウトドアスポーツを通じ、参加者が自然との共存を実感し、自然を愛し敬う精神を養うことを目指します。

「すべての人々とトレイルを共有する」

トレイルは、山で暮らし、働き、楽しむ、たくさんの人々の営みから作られたものです。その先人たちに敬意を払い、われわれ以外のトレイルを利用する人々とも、その価値を共有し、お互いを尊重し、感動を分かち合うことを目指します。

大会の特長

- ・ 100 マイル(160km)超トレイルランニングレース。(国内最長)
- ・ 世界最高峰「ウルトラトレイル・デュ・モンブラン(UTMB)」と精神を共有する世界初の姉妹大会
- ・ 地元 11 市町村の力強い協力により実現
- ・ 各市町村に設置するエイドステーション(休憩所)を交流の場とし地域の魅力を伝える
- ・ 夏山登山だけでない富士山周辺アウトドアの魅力を世界に伝える
- ・ 自然環境に配慮したコース設定と競技ルールの徹底
- ・ 大会開催による環境への影響調査・事前事後の清掃活動の実施、自然保護の啓蒙活動としての自然体験教室の実施

参加資格 UTMF/ 大会当日に 18 歳以上の男女で、コースを迷うことなく制限時間内に完走できること。  
 STY/ 大会当日に 18 歳以上の男女(で、コースを迷うことなく制限時間内に完走できること。

[UTMF]

2014 年 3 月 1 日～2016 年 2 月 28 日までの間に開催されたエントリー資格レースに出場・完走し、最大 3 レースで合計 6 ポイント以上を獲得していること。

[STY]

2014 年 3 月 1 日～2016 年 2 月 28 日までの間に開催されたエントリー資格レースに出場・完走し、最大 2 レースで合計 2 ポイント以上を獲得していること。

※ なお、本年の 2016 年ウルトラトレイル・マウントフジ第 5 回で UTMF/STY において、男子 100 位以内、女子 20 位以内に完走された選手には優先エントリー権 (UTMF は UTMF の優先権、STY は STY のみの優先権となります) を与えます。

ただし、2016年のエントリー時に、上記エントリーするため必要なポイントを満たしていなければエントリーできません。

- ※ UTMF2016のポイントに関しては ITRA より旧エンデュランスポイントでコース認定を受けたレースおよび UTMF 国内資格レース一覧に記載されたレースが対象となります。
- ※ UTMF2017のポイントに関しては ITRA より新エンデュランスポイントでコース認定を受けたレースが対象となります。(UTMF が独自に作成していた国内資格レース一覧は廃止いたします。)

※ポイントは姉妹レースであるウルトラトレイル・デュ・モンブラン(UTMB)のポイントを参照。

[http://www.ultratrailmb.com/page/87/courses\\_qualificatives\\_liste.html](http://www.ultratrailmb.com/page/87/courses_qualificatives_liste.html)

#### 【注意事項】

現在、UTMB のポイントとなっていない日本のレースに関してはレースの内容を検討し、随時、掲載していく。これから開催するレースは開催後、参加資格レースとなるか否か検討し、ポイントに換算する。

エントリーの際には完走した大会の名称、開催年月日、レースナンバー、タイムを必要とします。ナンバーカード引き換え時に顔写真入りIDを提示していただきます。顔写真入りIDがない方は事務局からフォーマットをお送りしますので、顔写真を貼付のうえ、ご返送ください。

#### 参加条件

- 1) レースの距離と、山岳地を一昼夜以上走り続けるという特殊性を十分認識し、必要な訓練を行なっていること。
- 2) この種のレースで起こりうる問題に対して、自ら対処できる能力を有していること。
- 3) 山岳地で予測されるトラブルや天候の悪化など(低温、強風、雨や雪)に、他に頼ることなく自ら対処できること。
- 4) 極限的な疲労、内臓・消化器官の不具合、筋肉などの痛み、軽度のけがが引き起こす肉体的、精神的問題に対して自ら対処できること。
- 5) 1)から4)の問題については自らが克服することであり、大会組織が責任を負うものではないと十分認識していること。
- 6) 自然の中での活動において、安全にかかわる問題に直面した場合、自らがそれぞれの能力によって対応しなければならないことを十分認識していること。
- 7) 大会出場中の選手の映像、写真、記事、記録などのテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどへの掲載権は主催者に属するものとします。

※2015年のレースにおいて、上記の参加条件に反する行為があった場合は2016年への参加をお断りすることがあります。

## 大会日程

## ナンバーカード引換

9月22日(木)	13時～17時	富士河口湖町	UTMF/STY
9月23日(金)	9時～11時30分	富士河口湖町	UTMF/STY
9月24日(土)	8時～10時	富士山こどもの国	STY

## 大会スケジュール

## UTMF (ウルトラトレイル・マウントフジ)

	9時～12時	荷物、ドロップバッグ預け
9月23日(金)	12時30分	開会式
	13時	スタート
9月25日(日)	10時30分～11時	表彰式、閉会式
	11時	制限時刻

表彰対象:男子総合1～10位、女子総合1～5位

※表彰は総合順位のみで、年代別表彰はありません。

## STY (静岡から山梨)

	8時～11時	荷物預け
9月24日(土)	11時30分	開会式
	12時	スタート
9月25日(日)	8時	制限時刻
	10時30分～11時	表彰式、閉会式

表彰対象:男子総合1～10位、女子総合1～5位

※UTMFのみ年齢別表彰があります。(40歳代 ベテラン/50歳代マスター)

参加料 UTMF36,000円、STY24,000円(決済手数料含まず)

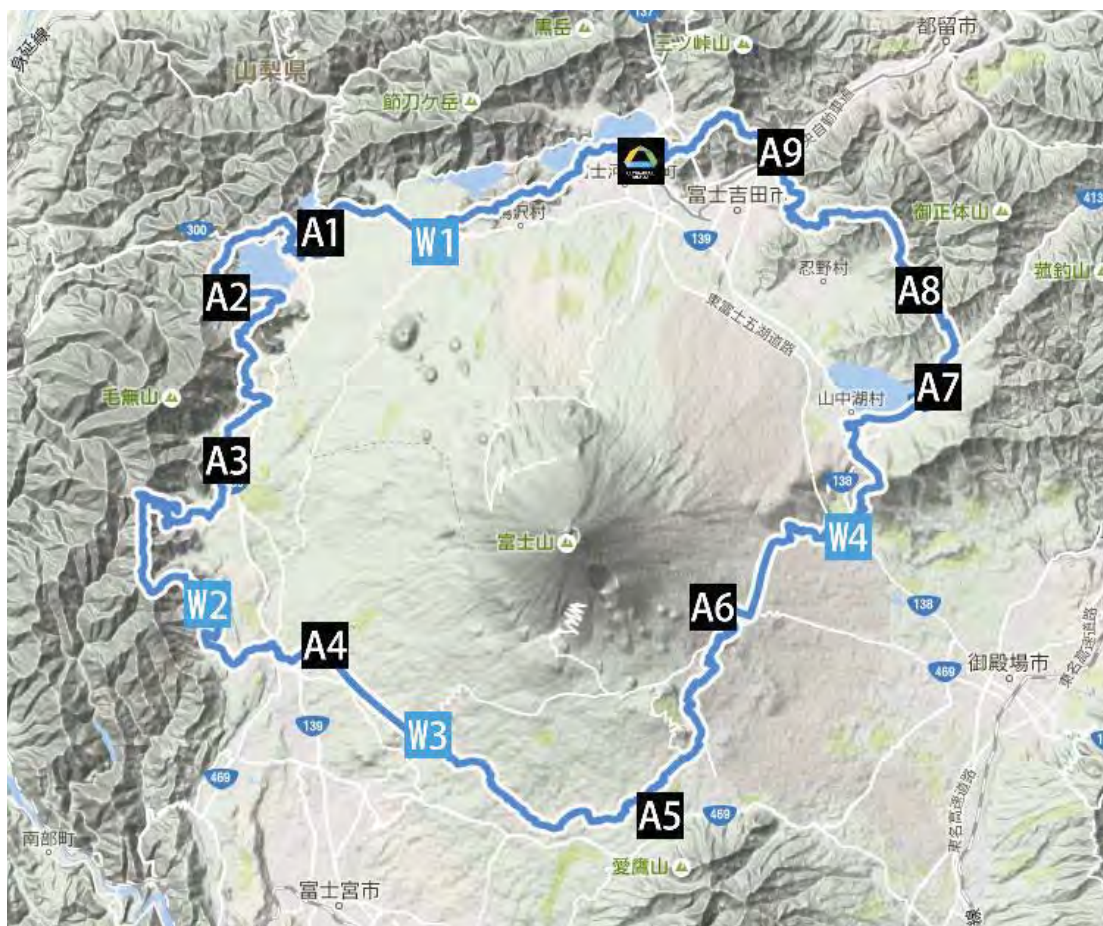
募集方法 RUNNET(<http://runnet.jp/>) による抽選のみ

開催発表 2015年12月

募集期間  
 3月1日(火)12時～15日(火)23時59分(国内・抽選)  
 4月1日(金)12時 当選発表～4月15日(金)23時59分 入金期限  
 5月7日(土)0時～ 二次先着申込(国内在住者落選者対象)\*1  
 3月1日(日)12時～5月31日(日)23時59分(海外・先着)  
 \*1 情報解禁日4月28日(木)

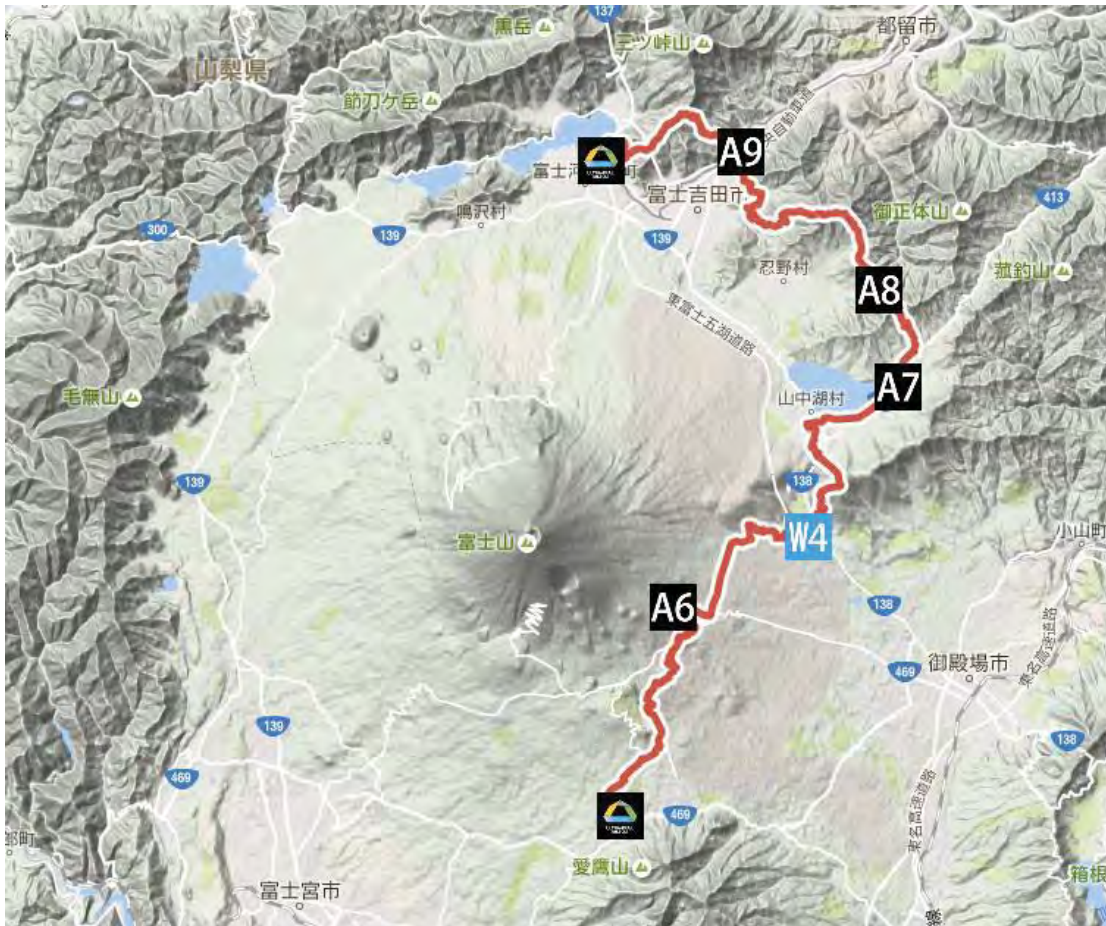
大会事務局 NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部  
 〒410-2407 静岡県伊豆市修善寺 75ドットツリー修善寺 PJ-01  
 TEL:0558-99-9117 FAX:0558-72-8466  
 E-mail:info@ultratrailmtfuji.com  
 営業時間:平日 10:00～18:00

コース



## 進行表

エイド種類	場所	サポート	区間距離	累積距離	2016関門時刻 (OUT)
START	大池公園		0	0	
W1	鳴沢		13	13	
A1	精進湖民宿村		7	20	
A2	本栖湖		12	32	2016/9/23 20:30
A3	麓	○	15	47	2016/9/24 0:00
W2	天子の森キャンプ場		20	67	
A4	富士宮		11	78	2016/9/24 7:00
W3	栗倉		7	85	
A5	富士山こどもの国	○	14	99	2016/9/24 11:30
A6	太郎坊	○	14	113	2016/9/24 17:30
W4	すばしり	○	10	123	2016/9/24 19:30
A7	山中湖きらら	○	13	136	2016/9/25 0:00
A8	二十曲峠		6	142	2016/9/25 3:00
A9	富士吉田	○	14	156	2016/9/25 8:00
FINISH	大池公園		11	167	2016/9/25 11:00



進行表

## II. 自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために

### I. 行動規範及び配慮事項

#### 1. 持続可能な大会運営のための行動規範

ウルトラトレイル・マウントフジ(UTMF)を持続可能な大会として運営していくため、環境に関する行動規範を以下のように定める。

- 世界中のトレイルランニング愛好者に対し、富士山麓地域においてトレイルランニングの持つ魅力を提供する。そのすべては持続可能であり、環境的、文化的に地域と共存しなければならない。
- 運営において妥当な倫理基準を守り、社会的悪影響を最小に抑える。
- 大会コースの使用においては社会的な公正さを確固たるものにしていく。
- コース周辺地域の環境保護と地域活性化の両者を促進するために、環境と地域文化を尊重し細心の注意を払う。
- 再生できない資源の利用をできる限り減らす努力を行う。
- 環境における限界容量を認識し、細心の注意を払って環境を認識し、それを効果的、継続的なモニタリングを行う。
- 大会を通じて直接的、間接的方法で主催者、選手、トレイルランニング愛好者、地域の方々の富士山麓地域の自然環境保護の意識、行動を変えてゆく。

#### 2. コース設定に関する自然環境への基本的な考え方

- 国立公園特別保護地区や第1種特別地域、それに準ずる自然環境を持つ場所は、原則回避する。
- 部分的に特別保護地区や第1種特別地域等を通過する場合には植生帯への踏み出しや土壌侵食の影響しない箇所に関し部分的に利用する。
- コース選定に関して関係各機関や地域に事前にヒアリングを実施する

#### 3. コース設定の際の配慮事項

- 以下の場所については、コースを設定しないよう配慮する。
  - ① 走行に対して脆弱な場所(湿原、泥濘の箇所、高山植物群落等)
  - ② 保全上重要な自然環境にある場所や、すでに激しい洗掘を受けている場所
  - ③ 崩落や落石の恐れのあるガレ場
- 歩道の複線化や拡幅が懸念される場所についてはコースを外さないよう処置を行う。

#### 4. 大会開催の際の配慮事項

- 他の利用者が多い路線や混雑期を回避する(詳細コース図参照)。
- 開催日時、コース、他の利用者への留意事項等をウェブ等で告知する。
- 歩道はみ出しの懸念がある箇所は、原則追い越し区間として設定する(詳細コース図参照)。
- 選手のシューズ等に付着する外来種の飛来を防ぐため、大会装備品チェック時に汚れた靴については洗浄を実施するほか、コース中トレイルの入り口にはマットを設置する。
- 全区間ストック及びストックの代わりとなる木の枝などの使用を禁止する。
- コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止する。
- 自然保護上必要な箇所では、追い越し禁止その他の制限を設定する。  
UTMF2016 追い越し禁止区間(詳細環境マップ参照)
  - ①熊森山 ②須山口登山道
- コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などの採取及び損傷を禁止する。
- コース上でのゴミ捨てを禁止する。



- 用便は各エイドステーションのトイレを使用させる。止むを得ないときは携帯トイレを使用させる。携帯トイレを必携品とする。
- 大会終了後10月1日、2日にボランティア参加による全コースのゴミ拾いを実施する。（\* 自衛隊演習地を除く）

## 5. その他の配慮事項

- 野鳥の繁殖時期には開催しない(5月～6月)
- 竜ヶ岳及び杓子山において大会時雨天時、および土壌のぬかるみが大会3日前に予見または認められた場合は回避し、コースを変更する。
- 歩道管理者、土地所有者、関係自治体等と十分な事前調整を行う。
- 必要に応じて専門家から意見を聴取する。

## 6. 自然環境モニタリングの実施

- 自然環境等への影響に係るモニタリングを実施する。
- モニタリングにより万一現場の顕著な改変等が見られた場合には、大会主催者が復旧する。

## Ⅱ. 自然環境モニタリング

### 1. 基本的な考え方

- 自然環境モニタリングとは、対象エリアの状況を大会前後で比較し、変化が自然に起きたものなのか大会によって発生したものを判断し、大会によって発生した場合、それが許容できる範囲かどうかを評価するものである。
- 本大会の自然環境モニタリングは、歩道部分の形状の改変の有無と歩道脇へのはみ出しやその植生構造の消失や変化の検証を目的とする。
- 自然環境モニタリングは長期的に実施することでより有効な評価に繋がる。そのため長期間に渡って継続的なモニタリングを実現できるよう、簡単で費用がかからず、専門家でなくても繰り返し実行できる手法を採用する。

### 2. モニタリングポイントの選定方法

<コース区分>大会使用コースは、以下の5つの区分に分けられる。

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| ① 登山道・未舗装歩道 | 人のみの通行を前提にした歩道・登山道(未舗装)。 |
| ② 林道・作業道    | 車両通行可能な林道や歩道(未舗装)        |
| ③ 自衛隊演習地    | 陸上自衛隊演習地(未舗装)            |
| ④ 送電線遵守路    | 送電線下の遵守路(未舗装)            |
| 1 道路・舗装歩道   | 舗装された道路及び林道(舗装された歩道も含む)  |

コース全行程167.3kmの中で、トレイル(未舗装路)は①～④でその総距離は116.6kmであるが、自然環境モニタリングが必要な部分は「①登山道・未舗装歩道」のみであり、その距離は58.4kmである。



<モニタリングエリア絞り込み表>

全行程：167.3km モニタリング候補対象エリア：58.4km  
 トレイル（登山道歩道・林道・自衛隊演習地・送電線下）：116.6km  
 舗装道路：50.7km  
 トレイル率：69.7%

単位：km

エイド種類	場所	区間距離	①登山道・歩道	②林道・作業道	③自衛隊演習地	④送電線遵守路	⑤道路・舗装歩道	⑥環境モニタリング対象距離（区間距離） ②+③+④+⑤	備考
START	河口湖大池公園	0						0	
W1	鳴沢	13	8.8	0	0	0	4.4	8.6	トレイル8.2km トレイル率63%
A1	精進湖民宿村	7	1.2	0	0	0	6	1	トレイル1km トレイル率14%
A2	本栖湖	12	11.6	0	0	0	0.4	11.6	トレイル11.6km トレイル率96%
A3	麓	15	5.8	6.3	0	0	2.9	5.8	トレイル12.1km トレイル率80%
W2	天子の森キャンプ場	20	8.8	2.4	0	0	8.8	8.8	トレイル11.2km トレイル率56%
A4	富士宮	11	1	4.2	0	0	6.1	0.7	トレイル5.2km トレイル率47%
W3	粟倉	7	0	0.4	0	5.6	0.5	0.5	トレイル6.5km トレイル率92%
A5	富士山こどもの国	14	0	11.9	0	0	2.1	0	トレイル11.9km トレイル率85%
A6	太郎坊	14	2.0	2.2	7.4	1.4	1	2	トレイル13km トレイル率92%
W4	すばしり	10	0	0	9.8	0	0.2	0	トレイル9.8km トレイル率98%
A7	山中湖さらら	13	4.4	0	0	0	8.4	4.6	トレイル4.4km トレイル率33%
A8	二十曲峠	6	2.7	1.3	0	0	2	2.7	トレイル4km トレイル率66%
A9	富士吉田	14	7.8	3.4	0	0	3.1	7.8	トレイル11.2km トレイル率80%
FINISH	河口湖大池公園	11	4.3	1.9	0	0	4.8	4.3	トレイル6.2km トレイル率56%
	合計	167.3	58.4	34.0	17.2	7.0	50.7	58.4	

<選定基準>上記区分で絞り込んだ①58.4kmの中から、以下の基準よりモニタリングポイントを選定した。

- a. やむをえずコースに選定した特別保護地区、第1種特別地域、それに準ずる自然環境を持つ地域
- b. 歩道の幅員が狭い地点（手前の幅員が狭く、急に狭くなる地点）
- c. 路面に泥濘が生じる懸念がある地点
- d. 顕著な洗堀が認められる地点
- e. 概ね斜度 10 度以上がある登りや下り斜面
- f. 下り方向のカーブや緩やかなカーブが連続している地点
- g. 木段が設置されている地点
- h. 路面上に樹木の根が張り出している箇所
- i. 希少な植物や動物が確認されている箇所
- j. 平坦な見通しの良い箇所でコースの踏み外しや複線化が懸念される箇所
- k. 地権者や地域住民・専門家等により得に要望のあった箇所
- l. 岩が多い箇所

<モニタリングポイント>

上記の基準で抽出したモニタリングポイントを列挙する。

エリア番号	エリア名称	自治体	国立公園等の区分	モニタリング箇所	選定基準	モニタリング方
1	足和田山-1	山梨県	第2種特別地域	5	b.e.f	①
2	足和田山-2	山梨県	普通地域	5	c.e.	①
3	青木が原樹海	山梨県鳴沢村	特別保護地区	5	a	①
4	中ノ倉山～佛峠	山梨県身延町	第2種特別地域	5	i	①②
5-A	竜ヶ岳～端下峠	山梨県身延町・静岡県富士宮市	第2種特別地域・第3種特別地域	5	b.c.e	①
5-B	根原(迂回時)	静岡県富士宮市	第2種特別地域・東海自然歩道	5	g.k	①
6	根原	静岡県富士宮市	第3種特別地域・東海自然歩道	5	b.c.	①
7	熊森山	静岡県富士宮市	第3種特別地域	10	b.c.e	①
8	長者ヶ岳～田貫湖	静岡県富士宮市	第2種特別地域・第3種特別地域・東海自然歩道	10	e.g	①
9	天子ヶ岳登山道	静岡県富士宮市		5	e	①
10	須山口登山道	静岡県裾野市		5	c.e.g.k	①
11	富士箱根トレイル	静岡県小山町・山梨県山中湖村	第3種特別地域・静岡県:明神峠自然環境保全地域	5	e	①
12-A	杓子山	山梨県忍野村		5	e.l	①
12-B	杓子山迂回時	山梨県忍野村		5	e.l	①
			モニタリング箇所	80		

### 3. モニタリング方法

#### ①: すべてのモニタリングポイントで実施する事項(事前・事後)

- ・ 日時、モニタリング参加者、天候・気温・標高の記録
- ・ モニタリング地点の緯度・経度、幅員、傾斜角度
- ・ 複数の角度からの概況写真撮影
- ・ モニタリングポイント内(約1km 前後)の映像撮影

#### ②: 平坦な見通しの良い箇所コースの踏み外しや複線化が懸念される箇所

- ・ 3m×3m のコドラードを設定し、1 つ区画を1m×1m したものをういて山中式硬度計を使用した土壌硬度と各区画ごとの写真を事前・事後で撮影する。

### 4. 調査日程

- ・ 事前調査: 2016 年 9 月 1 日～22 日(予備日含む)
- ・ 事後調査: 2016 年 9 月 23 日～30 日(予備日含む)
- \* 事後調査に関してはコース通過後なるべく速やかに実施する。

### 5. 添付資料

#### 1) UTMF 環境マップ

用語説明

##### ・国土を特徴づける自然生態系を有する地域

地域ごとの生物学的な特性を示す自然生態系が、比較的大規模に残されている場所を示した地図。

まとまった面積を持ち、その地域本来の自然環境を残している生態系は、我が国を代表する自然的特性を知る上で重要であるとともに、生物多様性保全上の核(コア)となる重要な地域といえる。

この地図では、環境省が平成 13 年度に公表した「生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報」に基づき、まとまった面積を持つ重要地域を「代表的な自然生態系を有する地域」として整理した。

こうした地域を残していくことにより、我が国における多様な自然生態系や動植物の生息・生育空間が保全され、国土全体の生物多様性の維持・向上に資することになる。

##### ・小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域

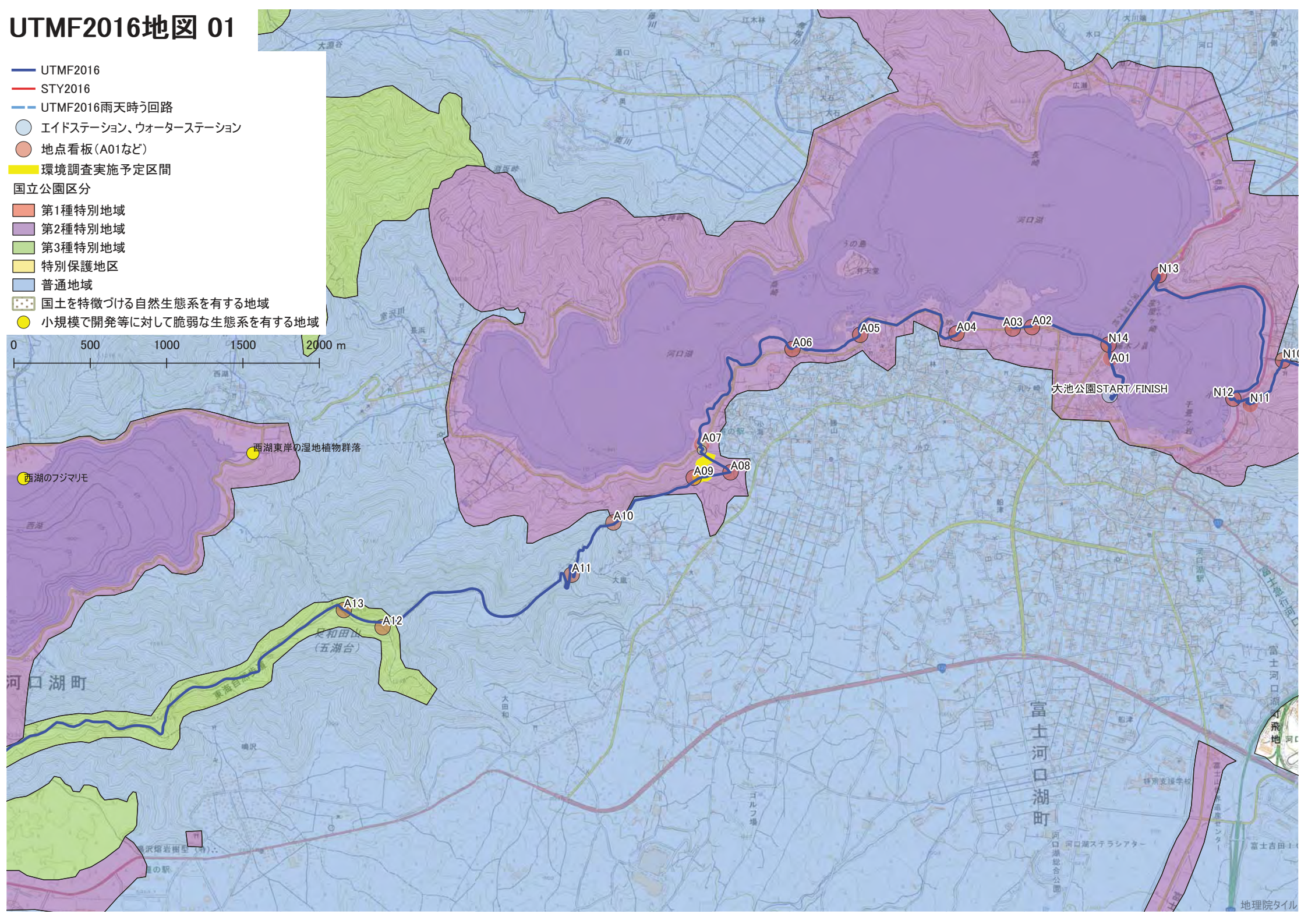
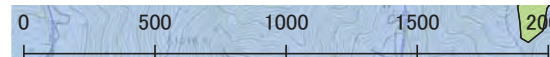
生物多様性の保全上の評価が高い生態系のうち、面積が小さい希少な生態系を示した地図。高山植生などの自然度の高い生態系だけでなく、農地や二次草原など二次的な自然における生態系を含んでいる。

#### ※参考文献

- ・ 東アジアの自然公園・保護区域における観光事業のガイドライン(2001 国際自然保護連合)
- ・ 国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて(2015 環境省)
- ・ 生物多様性地域戦略策定の手引き(改定版)(2014 環境省自然環境局)
- ・ 提言書(2011 狩猟と環境を考える円卓会議)
- ・ 富士山総合環境保全指針(修正版)(2012.静岡県)
- ・ ウルトラトレイル・マウントフジ植生保全環境調査概要報告 黒塚・須山口登山歩道編(2015 富士山エコレンジャー連絡会)

# UTMF2016地図 01

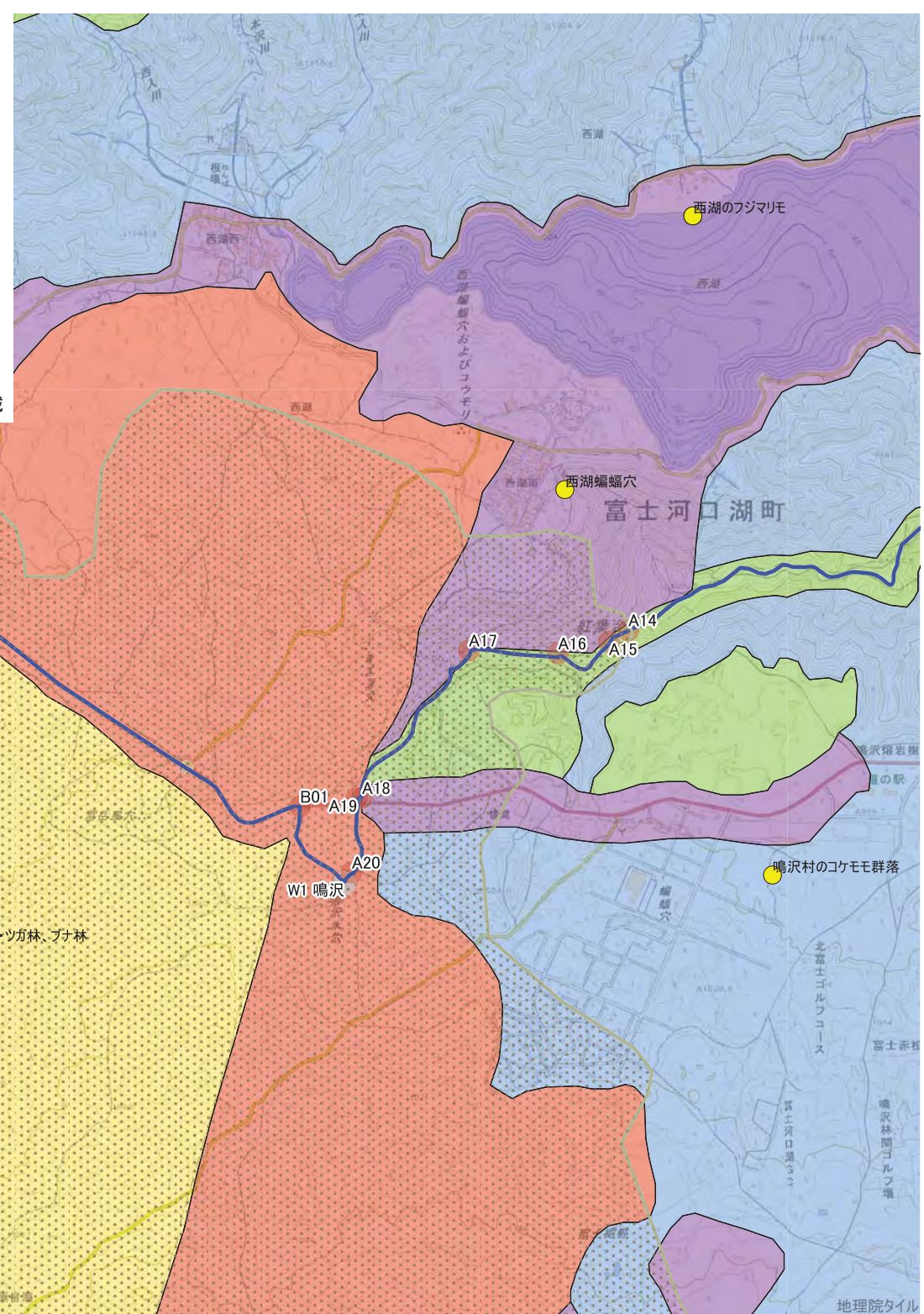
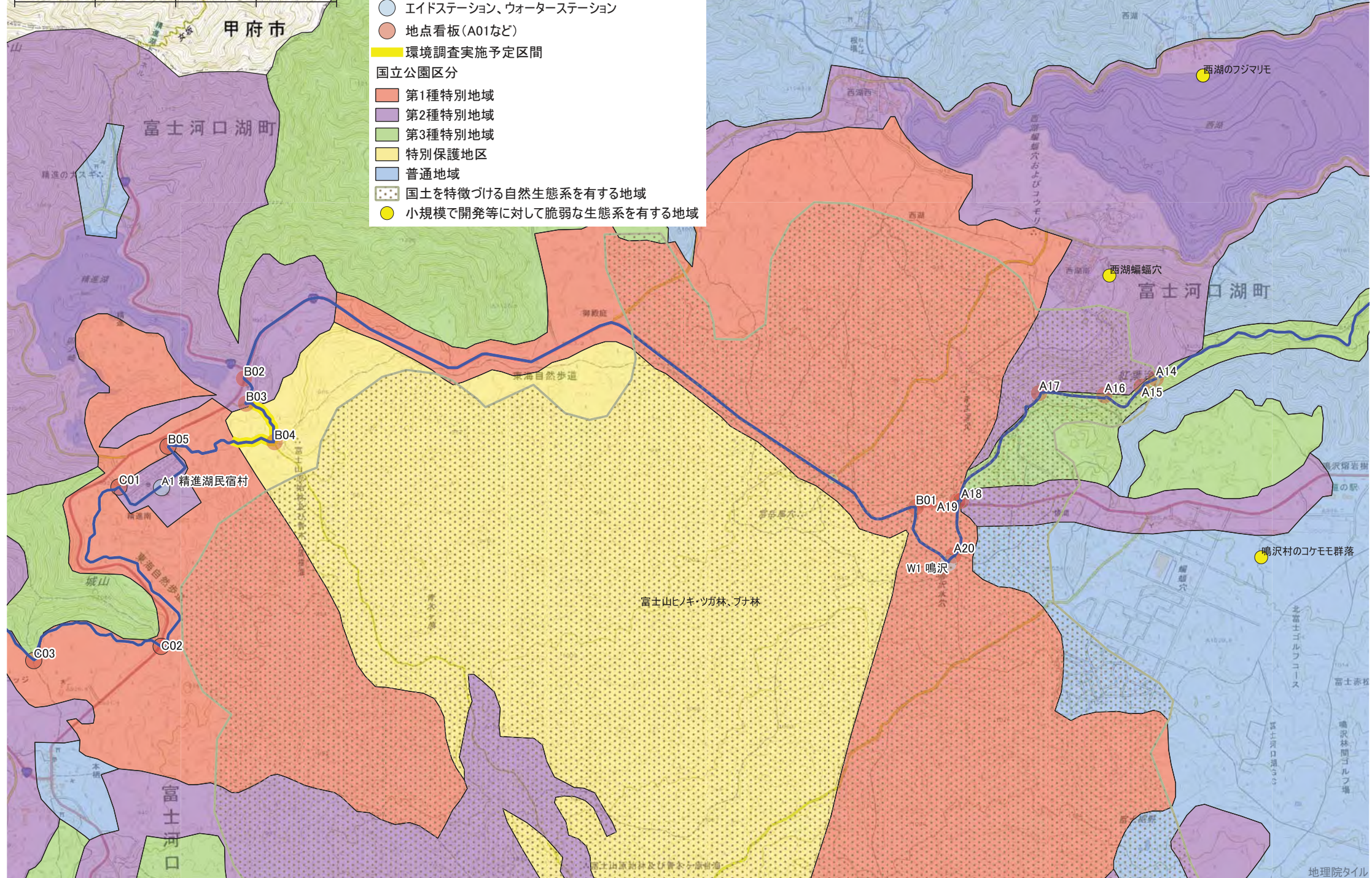
- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
  - 第1種特別地域
  - 第2種特別地域
  - 第3種特別地域
  - 特別保護地区
  - 普通地域
  - 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
  - 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



# UTMF2016地図 02



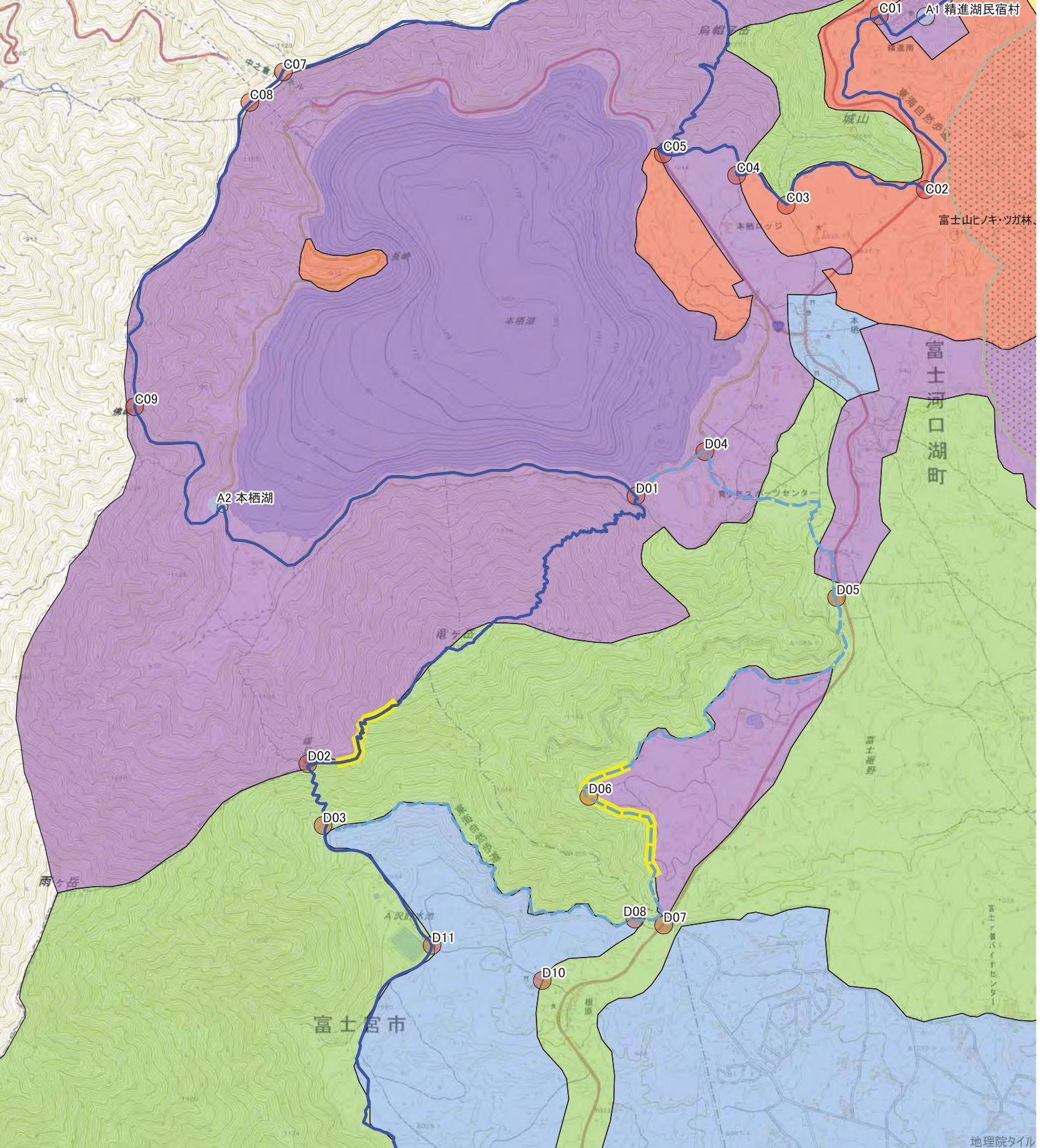
- UTMF2016
- STY2016
- - - UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分**
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



# UTMF2016地図 03

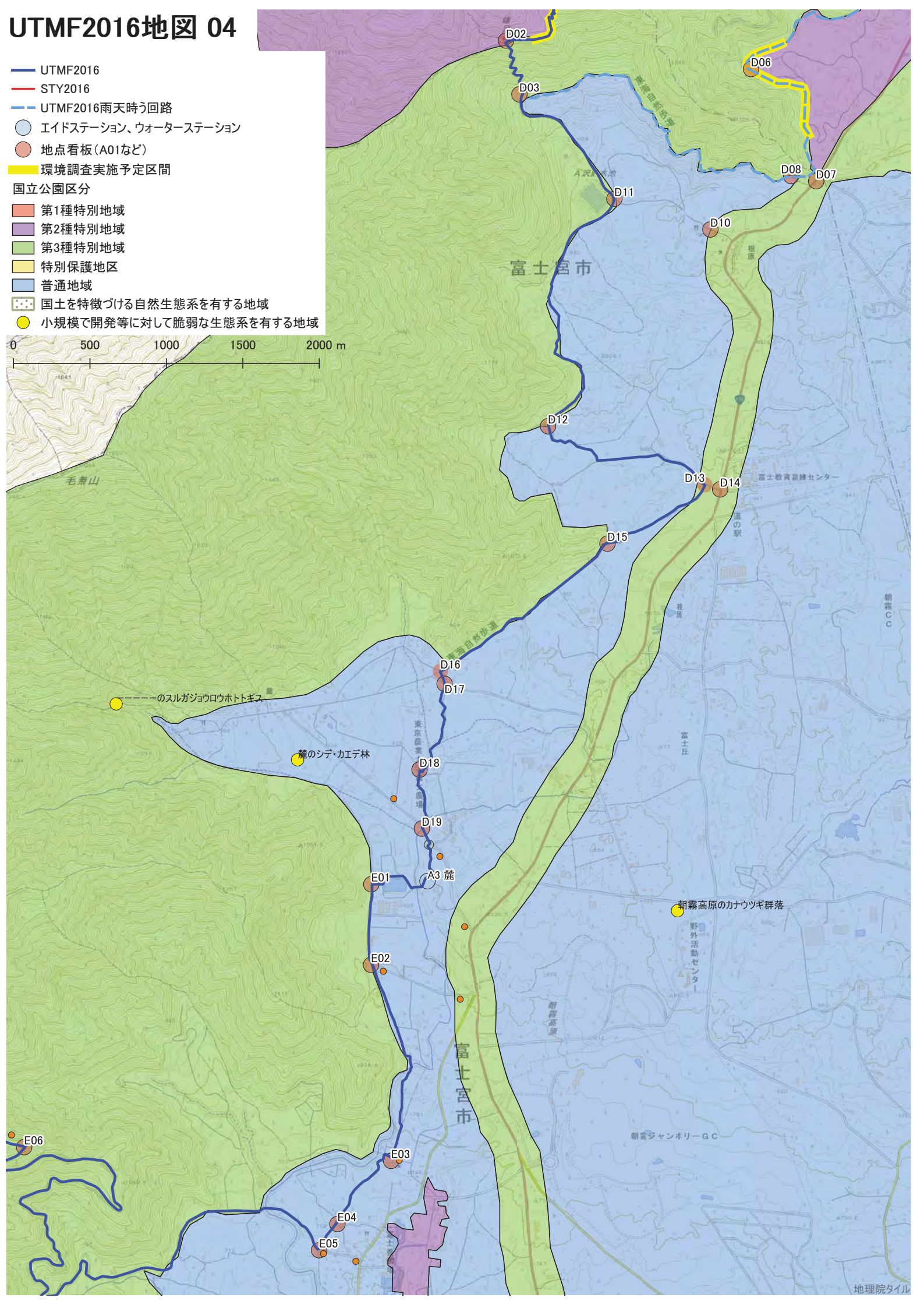


- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
  - 第1種特別地域
  - 第2種特別地域
  - 第3種特別地域
  - 特別保護地区
  - 普通地域
  - 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
  - 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



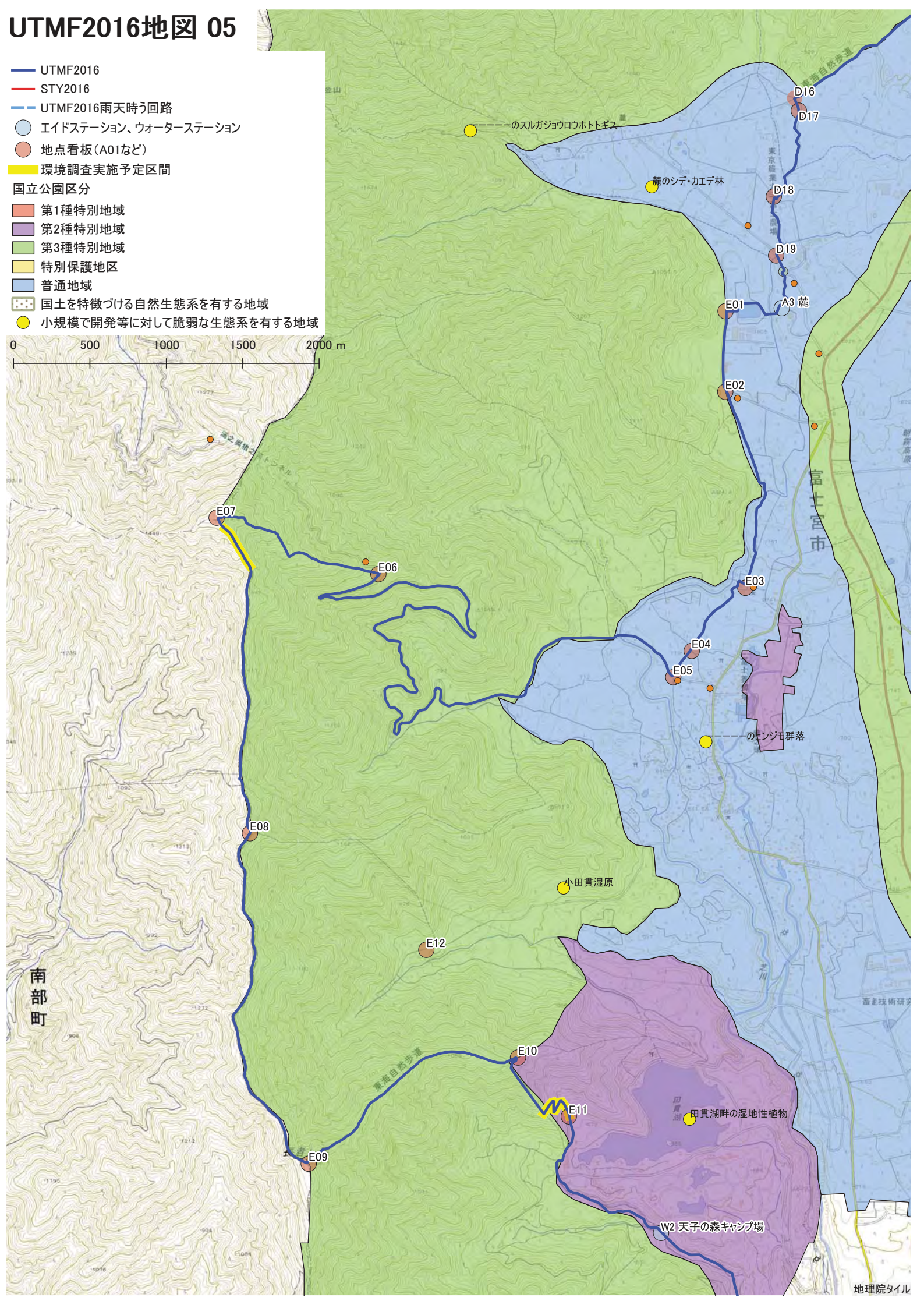
# UTMF2016地図 04

- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
  - 第1種特別地域
  - 第2種特別地域
  - 第3種特別地域
  - 特別保護地区
  - 普通地域
  - 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
  - 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域

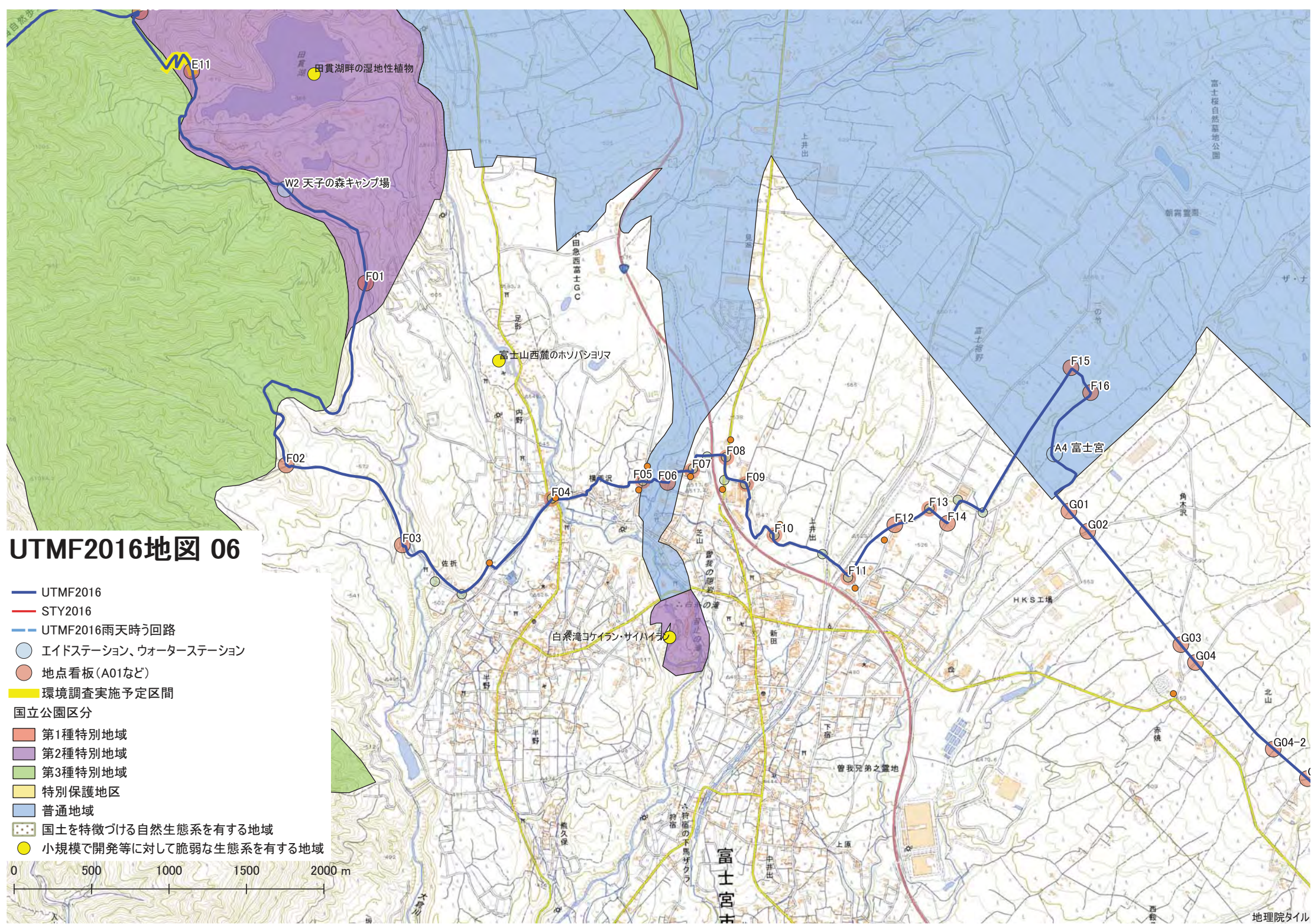


# UTMF2016地図 05

- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
  - 第1種特別地域
  - 第2種特別地域
  - 第3種特別地域
  - 特別保護地区
  - 普通地域
  - 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
  - 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



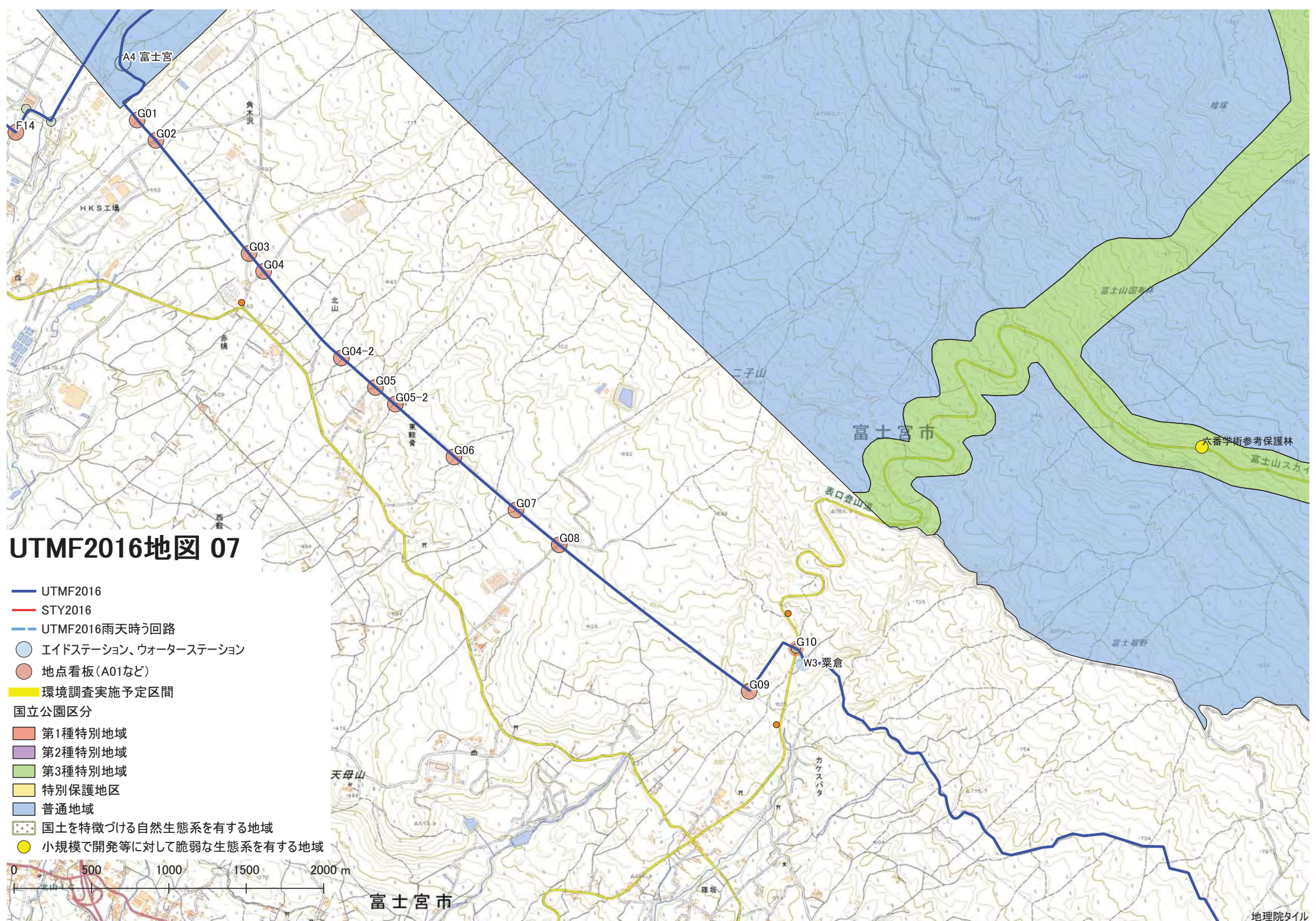




# UTMF2016地図 06

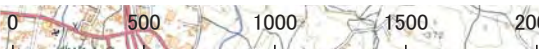
- UTMF2016
- STY2016
- - - UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域

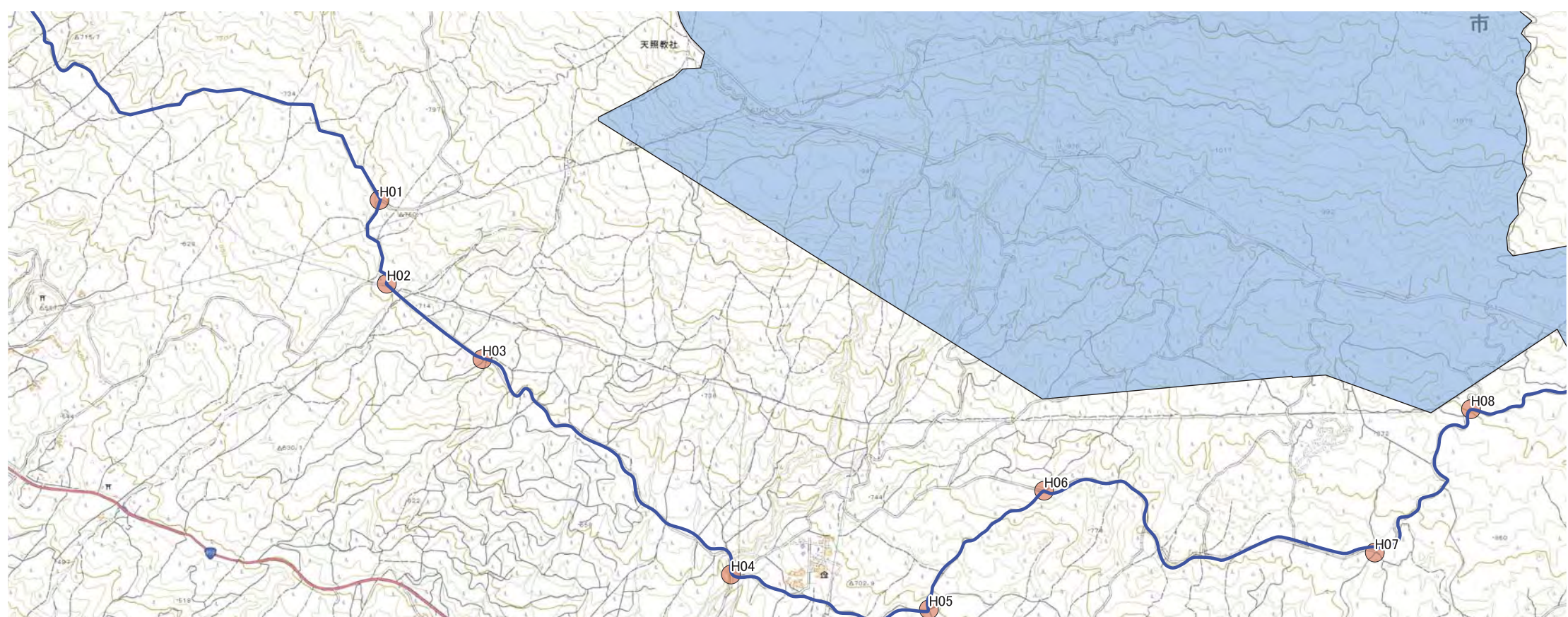




# UTMF2016地図 07

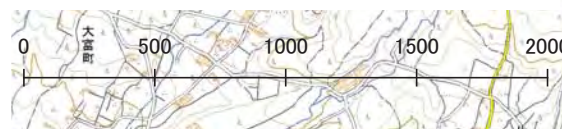
- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



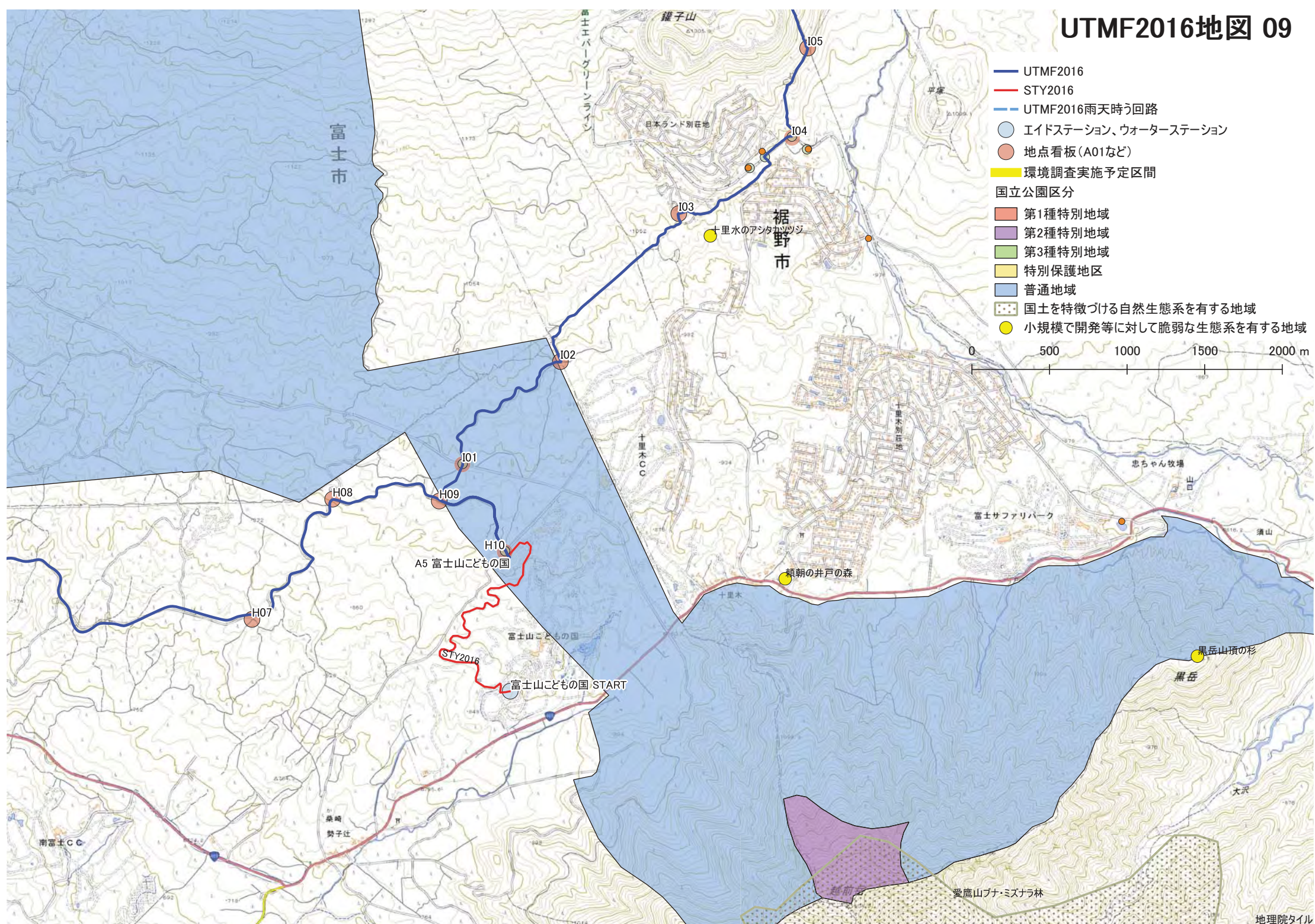


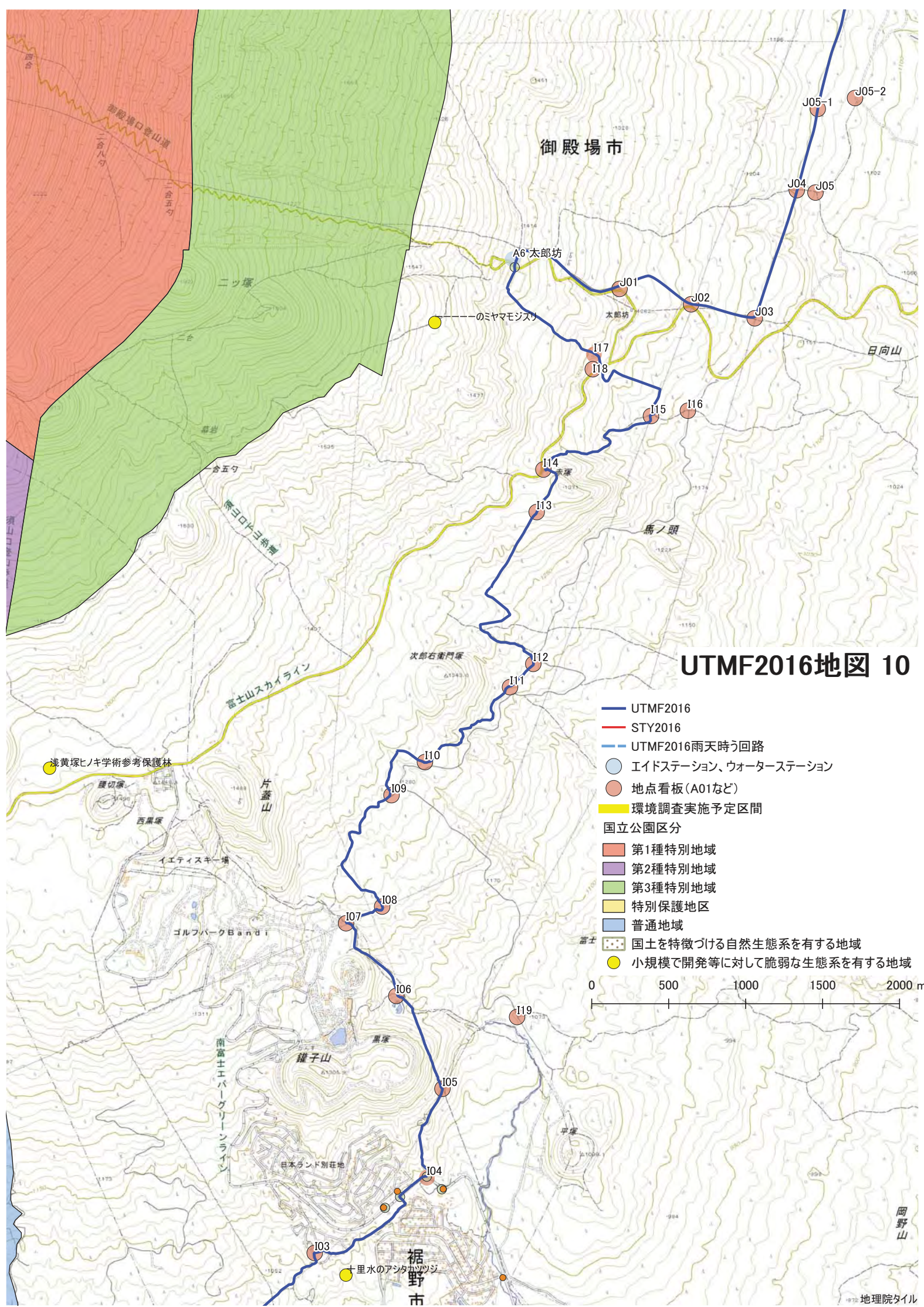
# UTMF2016地図 08

- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



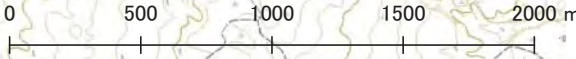
# UTMF2016地図 09

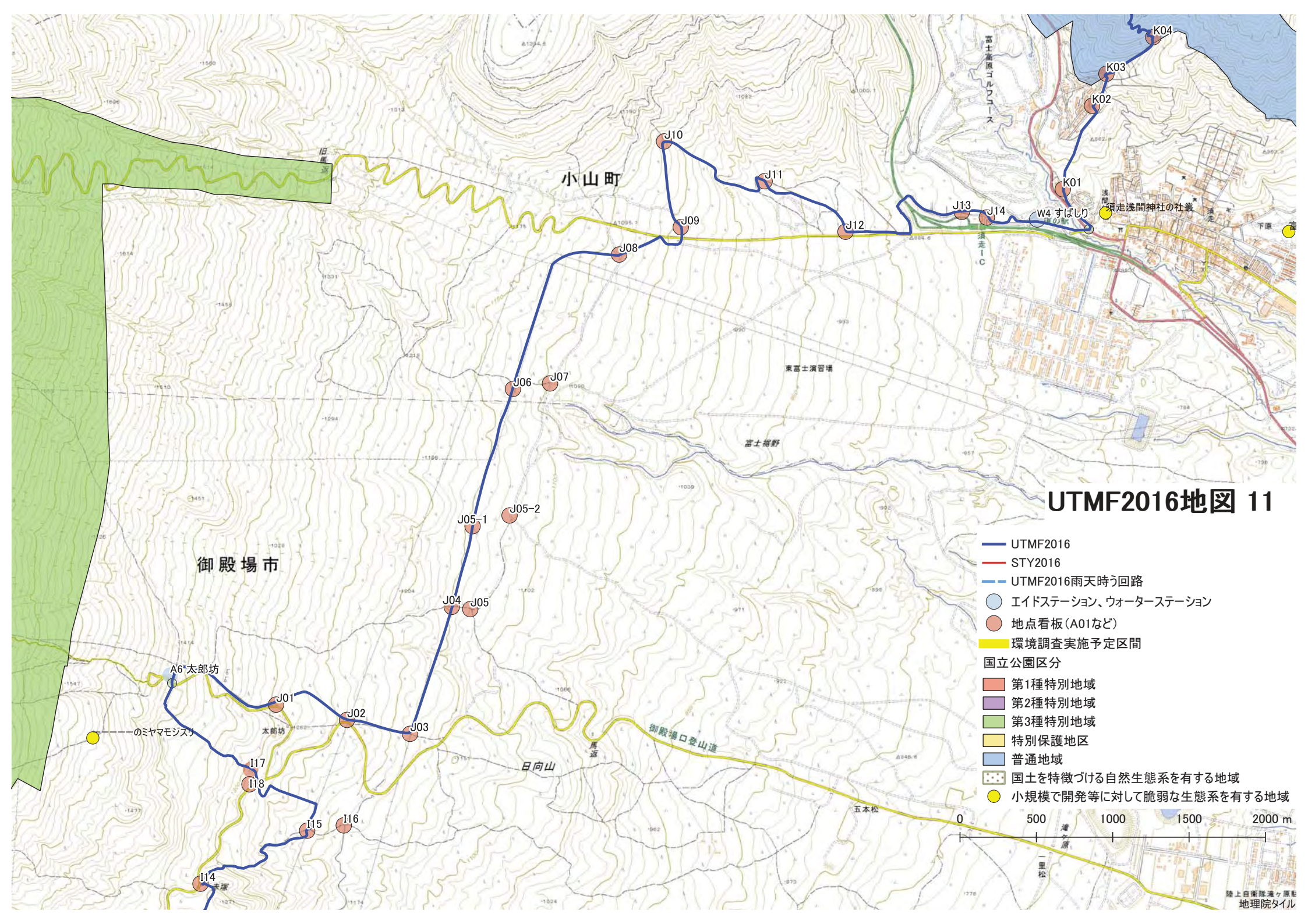




# UTMF2016地図 10

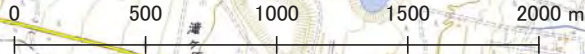
- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 富士 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域

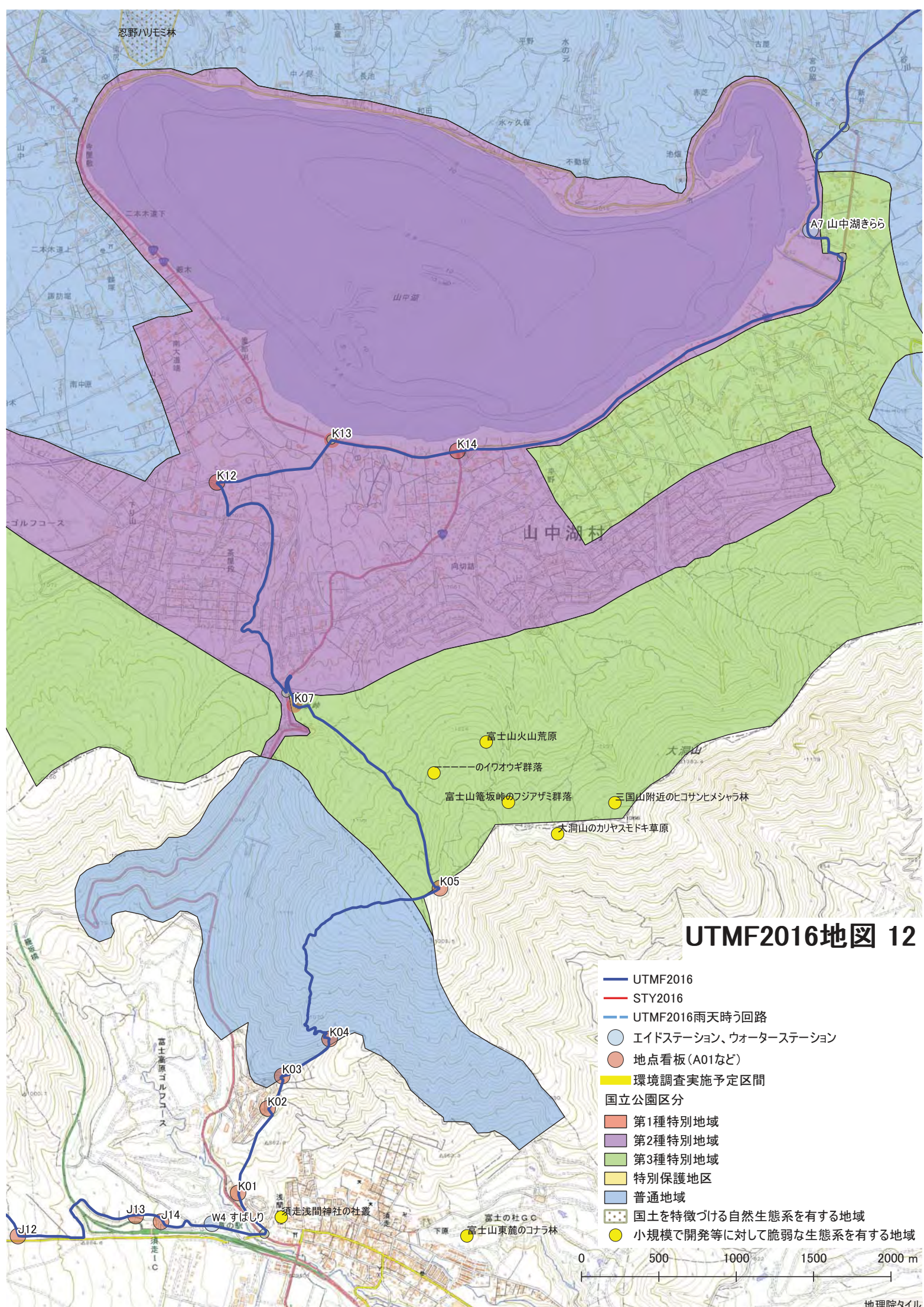




# UTMF2016地図 11

- UTMF2016
  - STY2016
  - UTMF2016雨天時う回路
  - エイドステーション、ウォーターステーション
  - 地点看板 (A01など)
  - 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
  - 第2種特別地域
  - 第3種特別地域
  - 特別保護地区
  - 普通地域
  - 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
  - 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域

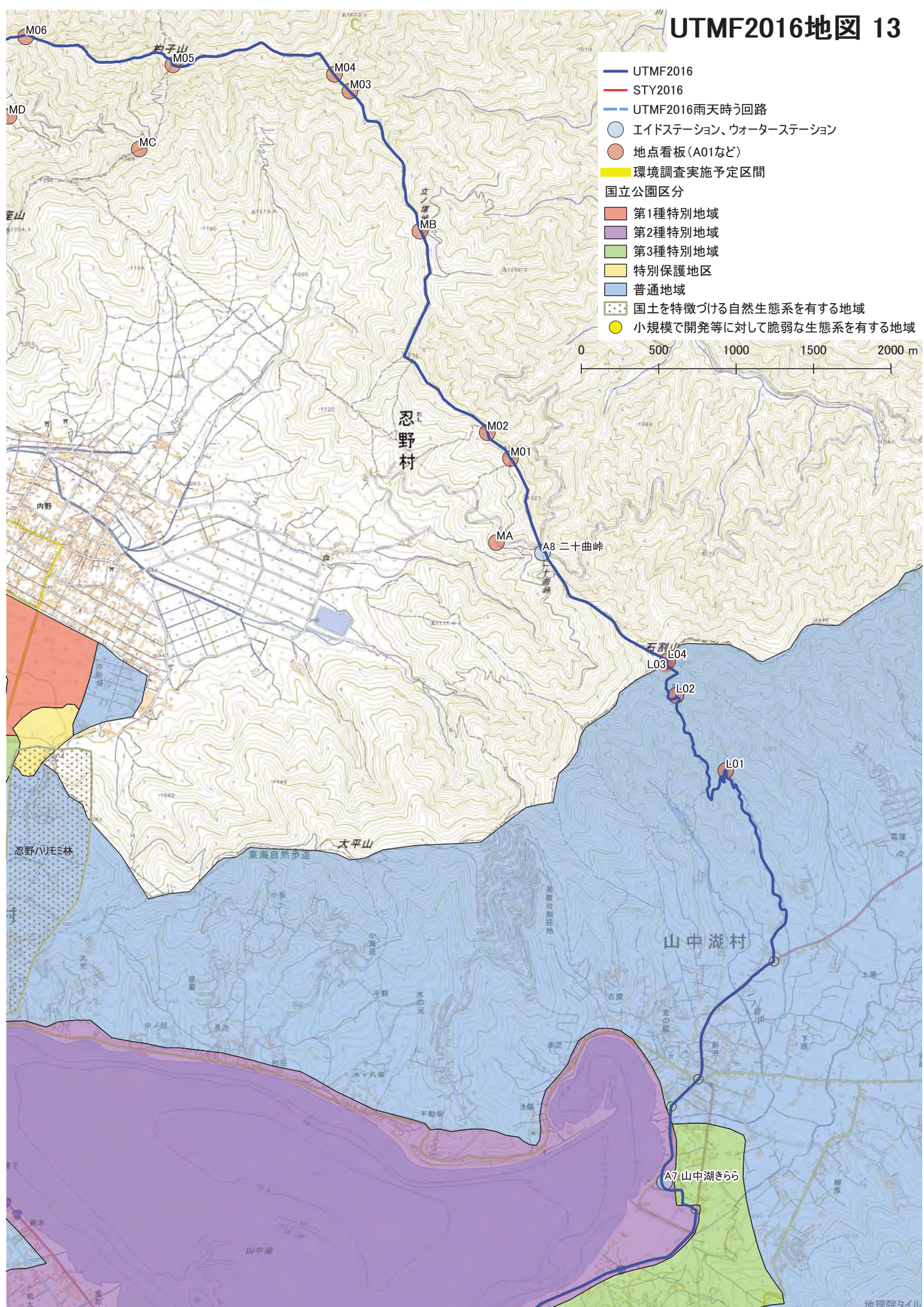




# UTMF2016地図 12

- UTMF2016
- STY2016
- UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板 (A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



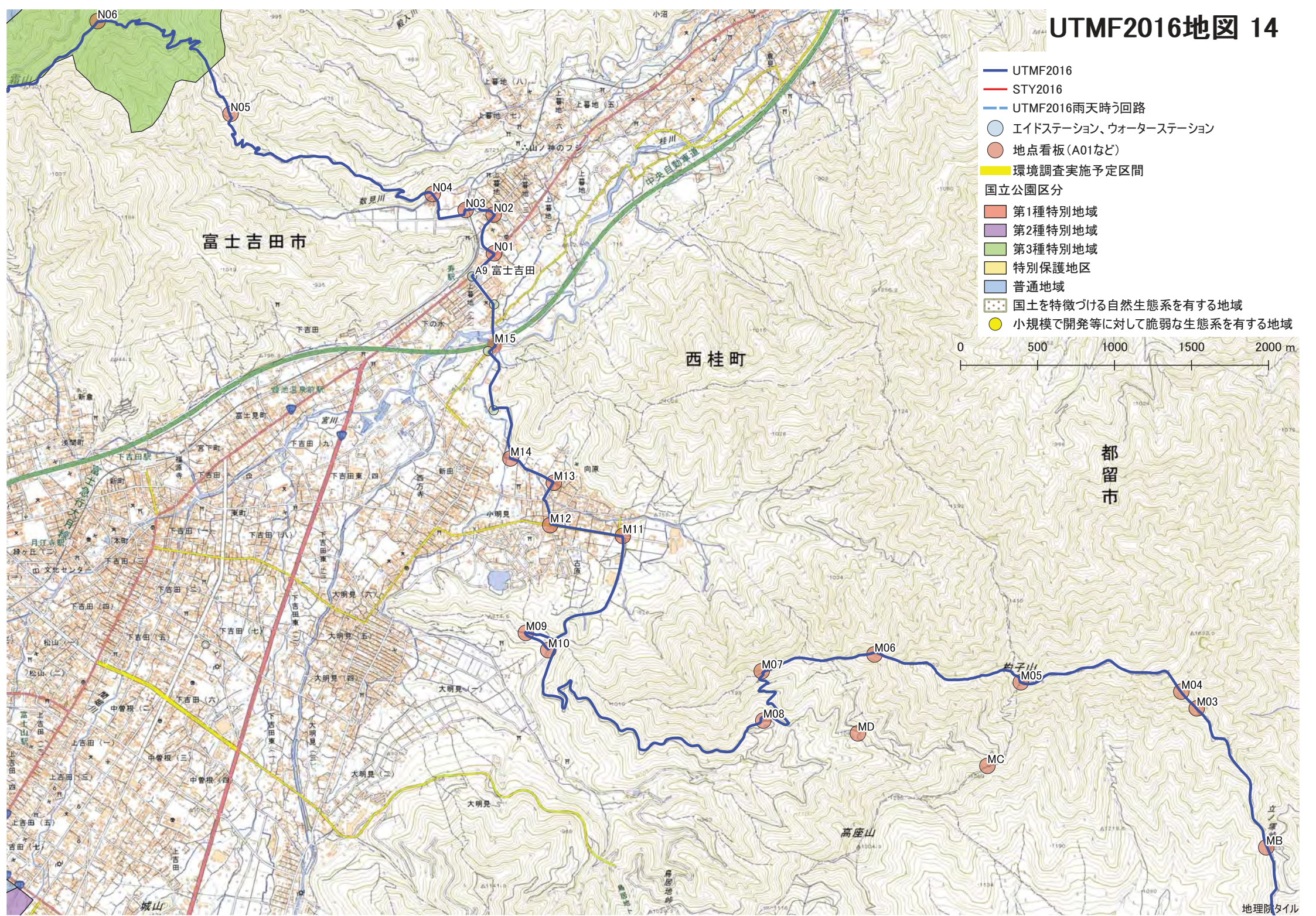


- UTMF2016
- STY2016
- - - UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板 (A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域





# UTMF2016地図 14



- UTMF2016
- STY2016
- - - UTMF2016雨天時う回路
- エイドステーション、ウォーターステーション
- 地点看板(A01など)
- 環境調査実施予定区間
- 国立公園区分
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 特別保護地区
- 普通地域
- 国土を特徴づける自然生態系を有する地域
- 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域



